

# 私も皆さんと同じ思いです

28日、杉原委員長と岡本書記長は、24日に意見書を採択した長浜市の藤井市長を訪れました。まず、組合から、最近の情勢を報告しました。

組合「県は、今年度中に統廃合計画を発表するという枠組みを変えていない。来年度6月の募集要項、11月の募集定員発表では、どこかの高校がなくなっている。しかし、この長浜市を含む12の議会が意見書を採択し地域からの声が高まっている。むつかしい局面に入っています」



## 知事選挙で言わなかった以上、してはならない

続いて、市長と、間髪入れずやりとりが続きました。

市長「高校の規模は、どれ位がいいのですか」

組合「(地域性などを考慮しない場合は)これまで5～6クラスと言われていました。一概には言えませんが、いまは、人間の関わりが薄くなっており、先生と生徒、生徒同士の丁寧な関わりが大事。みんなの顔が分かるのは4クラス程度だと言われています」

市長「県議会はどうですか」

組合「自民も民主も、同じ会派でも、まとまっていないようです」

市長「(統廃合に)賛成もいるんですか」

組合「南の方にはいるようです」

市長「対話の会はどうしていますか」

組合「よく分かりません。与党ですが、教師出身も多いですし困って

いるのでは」

市長「反対する人も知っていますよ」

組合「そうだと思います」

市長「知事は、選挙の中ではっきり言うべきだったと思う」

組合「4年前は、統廃合はしませんとマニフェストに書いたが、今回は逃げた。しかし、実際は、統廃合を進める方向で動いている」

市長「知事選挙で言わなかった以上、してはならないと思う」

組合「はい。そうだと思います」

市長「統廃合の理由はなんですか。お金ならお金と、はっきり言うべきだ」

組合「1つの高校をつぶして浮くお金が6000万円程度ですから、10校つぶしても6億円です。同和予算9億円や企業奨励金18億円など、他に削るべきものはあると思います」

市長「この会はどういう会ですか。政党は」

組合「会の中心は高教組です。私たちの組合は政党支持自由の組合です」

市長「私も皆さんと同じ思いです。長浜の高校を1つもつぶしてはならないと思っています。24日の市議会でも意見書を上げたし、知事にも直接要請しています」

市町議会議員も、県議会議員も、地域住民の立場に立つのかどうか、統廃合問題は、その試金石になってきました。



**高校統廃合はストップせよ**  
**速報 第20号** 2010/09/30 発行：滋賀高教組

(増し刷りして全教職員に配布し、また掲示板に貼るなどして下さい)